

1. 組織の概要

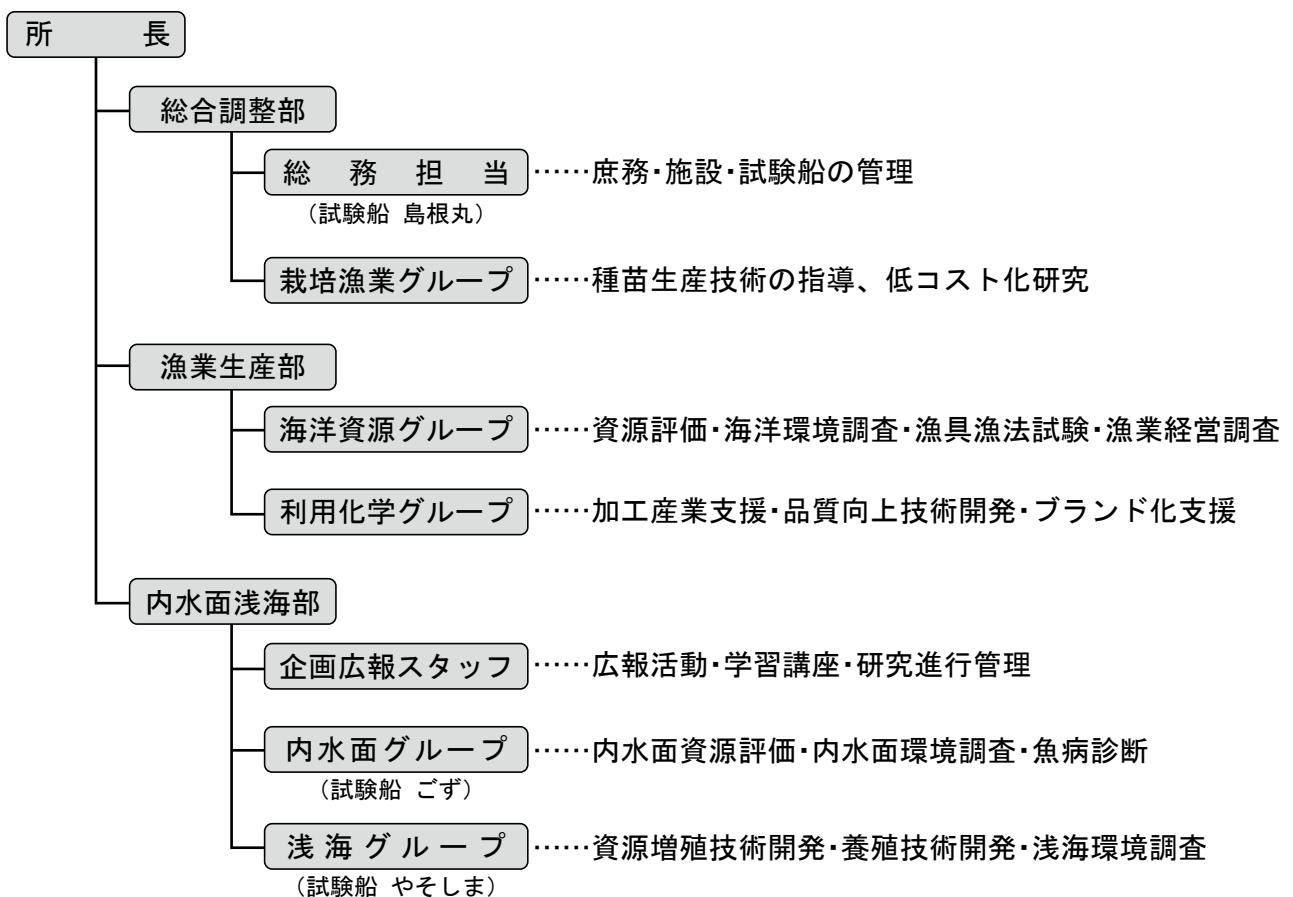
(1) 沿革

明治 34 年 (1901 年)	松江市殿町島根県庁内に水産試験場創設 漁労部・製造部（八束郡恵曇村江角）、養殖部（松江市内中原）
明治 43 年 (1910 年)	那賀郡浜田町原井に新築移転
大正 11 年 (1922 年)	那賀郡浜田町松原に移転
昭和 10 年 (1935 年)	那賀郡浜田町原井築港（現、瀬戸ヶ島）に移転
昭和 31 年 (1956 年)	浜田市瀬戸ヶ島町に新築移転
昭和 51 年 (1976 年)	隠岐郡西ノ島町に栽培漁業センター設置
昭和 55 年 (1980 年)	現所在地に新庁舎新築
平成 10 年 (1998 年)	内水面分場を廃止し、平田市（現、出雲市）に内水面水産試験場設置
平成 18 年 (2006 年)	水産試験場、内水面水産試験場、栽培漁業センターを統合し水産技術センターを開所
平成 20 年 (2008 年)	調査船「明風」退任 漁業無線指導業務を JF しまねに委託
平成 22 年 (2010 年)	種苗生産業務の（社）島根県水産振興協会への委託に伴い栽培漁業部を廃止

(2) 組織と名簿

(i) 組織図

(平成 23 年 4 月 1 日現在)



(ii) 名簿

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

所	長	北沢 博夫
総合調整部		
部	長	佐々木 伸二
総務担当		
主	幹	岩崎 努
企 画	員	間賀部 正人
試験船島根丸		
船	長	藤江 大司
一 等 航 海 士		木村 秀
航 海 士		坂根 孝幸
航 海 士		新 貴雄
航 海 士		馬越 秀巳
甲 板 員		安井 淳
甲 板 員		岡 俊秀
機 関 長		砂廣 秀人
一 等 機 関 士		梢江 哲夫
一 等 機 関 士		大石 眞悟
通 信 長		小松原 雄二
JFしまね 派遣		
企 画 幹		鳥落 修身
栽培漁業グループ		
科	長	山根 恭道
専 門 研 究 員		石原 成嗣
研 究 員		森脇 和也
主任管理技師		近藤 徹郎
主任管理技師		大濱 豊

漁業生産部		
部	長	森脇 晋平
利用化学グループ		
科	長	井岡 久
専 門 研 究 員		内田 浩
専 門 研 究 員		岡本 満
海洋資源グループ		
科	長	安木 茂
専 門 研 究 員		柳 昌之
専 門 研 究 員		道根 淳
専 門 研 究 員		沖野 晃
主任研究員		寺門 弘悦
内水面浅海部		
部	長	勢村 均
企画広報スタッフ		
主 席 研 究 員		藤川 裕司
内水面グループ		
科	長	石田 健次
主	幹	板倉 真一
専 門 研 究 員		向井 哲也
専 門 研 究 員		松本 洋典
専 門 研 究 員		曾田 一志
浅海グループ		
科	長	佐々木 正
専 門 研 究 員		三浦 常廣
専 門 研 究 員		清川 智之
専 門 研 究 員		開内 洋
試験船やそしま		
船	長	中村 初男
機 関 長		宮崎 圭司

栽培漁業グループ山根恭道科長は平成 23 年 10 月 15 日に隠岐郡西ノ島町において逝去されました。
ご冥福をお祈りいたします。

(3) 配置人員

職種別人員表

職 種	所 長	総合調整部					漁業生産部			内水面浅海部				計	
		部 長	総 務 担 当	試 験 船 島 根 丸	漁 業 無 線 指 導 所	栽 培 漁 業 グ ル ー プ	部 長	利 用 化 学 グ ル ー プ	海 洋 資 源 グ ル ー プ	部 長	企 画 広 報 ス タ フ	内 水 面 グ ル ー プ	浅 海 グ ル ー プ		試 験 船 や そ し ま
行政職	1	1	2		1							1			6
研究職						3	1	3	5	1	1	4	4		22
海事職				11										2	13
技労職						2									2
計	1	1	2	11	1	5	1	3	5	1	1	5	4	2	43

2. 平成 23 年度予算額

(1) 研究事業別予算額

(単位:円)

費 目	予算額	備 考
行政事務費	4,449,000	
管理運営費	42,704,000	
船舶保全費	25,296,000	島根丸(142t)、やそしま(9.1t)、 ごず(8.5t)
試験研究機関施設等整備費	2,390,000	
県単試験研究費	39,648,600	
国補試験研究費	2,299,000	
受託試験研究費	35,244,958	委託者:独立行政法人水産総合研究センター他
交付金試験研究費	99,000	
合 計	152,130,558	